

経営比較分析表（令和4年度決算）

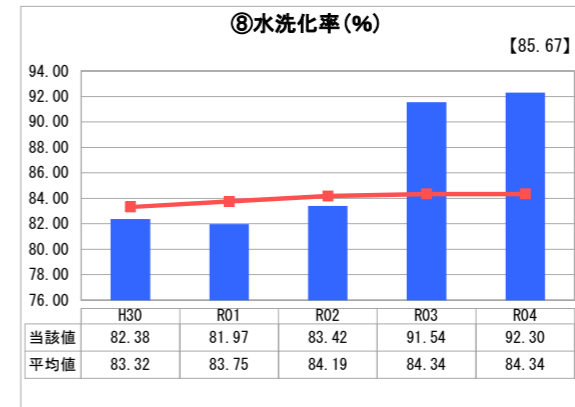
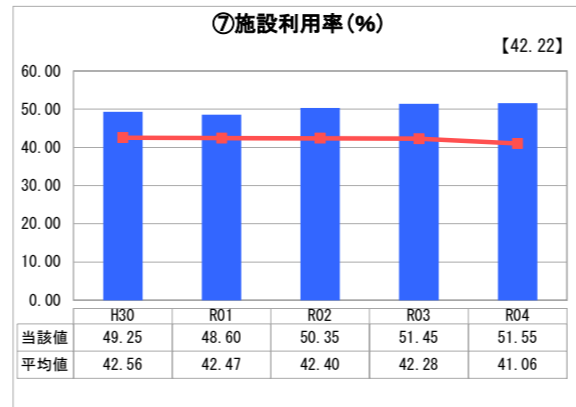
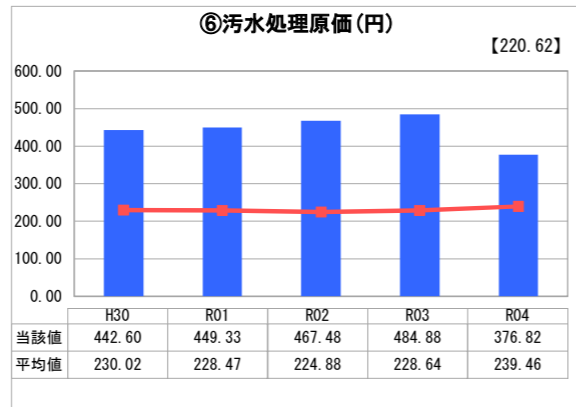
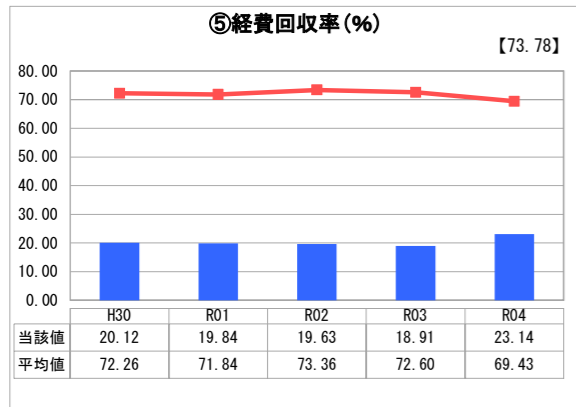
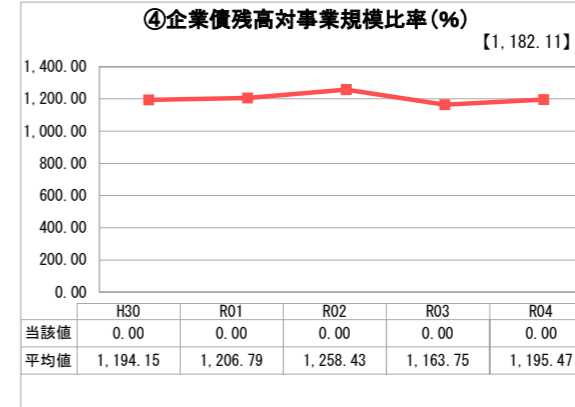
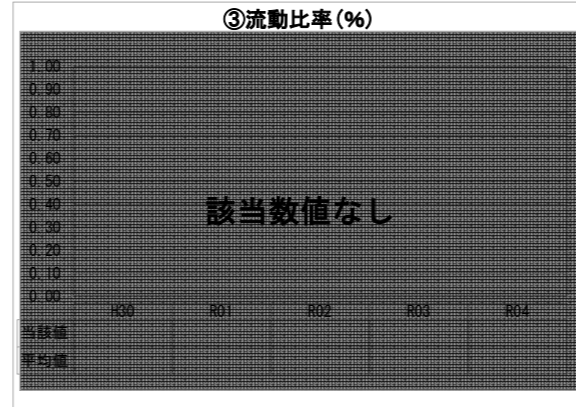
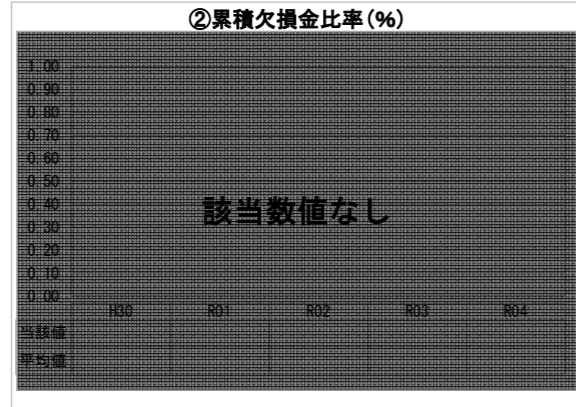
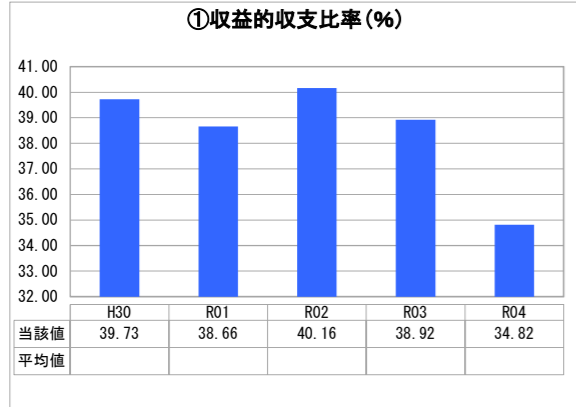
群馬県 川場村

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	88.46	124.15	1,760

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
3,105	85.25	36.42
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
2,729	1.58	1,727.22

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

「収益的収支比率」は前年と比較し、減少している。これは、営業収益は増加しているものの、国庫補助金の受け入れがなかったこと、他会計繰入金が増加したことによる、総収益の減少によるものである。

「経費回収率」は増加しているが、これは令和3年度末に行った下水道料金改定による、使用料増加のためである。

「汚水処理原価」は料金改定に伴い減少しているが、修繕箇所が増加してきていることにより、今後、増加することが予想される。

「企業債残高対事業規模比率」は、地方債現在高をすべて一般会計負担額として計算しているため、数値が出てこない。

「施設利用率」は微増しているが、今後の人口減少などにより減少することが考えられる。

「水洗化率」については、令和2年度まで水洗化人口総数の捉え方が間違っており、令和3年度からの数値が正しいものとなっている。少しずつ水洗化率は上昇してきている。

一般会計負担額で経営の大部分を賅っているのが現状であり、健全性・効率性ともに良くない状態が続いている。

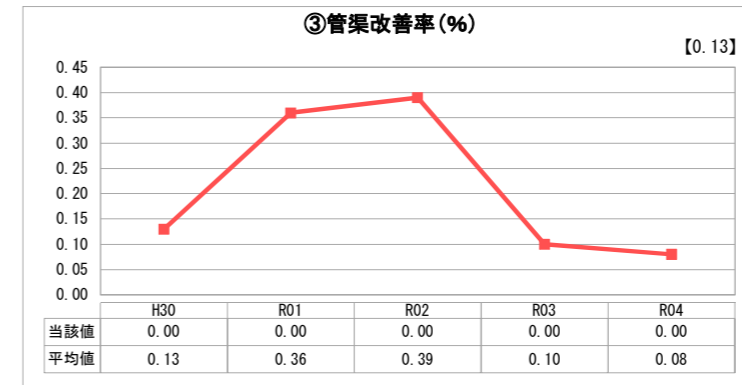
2. 老朽化の状況について

浄化センターは、経年劣化により修繕箇所が増加している。令和4年度に電気設備の更新工事を実施予定であったが、予算の確保ができず、令和5年度に実施した。

ストックマネジメント計画が更新の時期を迎えるため、先に計画の更新を実施、今後の維持管理の目安とする。

管渠については比較的新しいため、点検・調査を行っていくことで、異常箇所を早期に発見し、維持管理に努めていく。

2. 老朽化の状況



全体総括

2系列運転を開始し維持管理費用が増加、コロナの影響で諸経費の高騰も重なり、厳しい経営状況となっている。また、一般会計の負担により経営の大部分を賅っており、一般会計の負担も増大している。

令和3年度末に料金の改定を行ったものの、大幅な増額改定は村民の負担となるため、徐々に改定を進めていく予定である。

ストックマネジメント計画による計画的な維持管理をし、経費の平準化にも努める。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。